



研究会・研修会等への

報告者・講師の派遣

(平成八年二～五月)

○北海道米生産・販売方針策定
委員会・講演

主催 J A北海道中央会・北海道農協米対本部

とき 平成8年2月22日

テーマ 「北海道水田農業の課題と将来方向」

講演者 七戸 長生(当研究所・所長)

○十勝野に夢を育む会・公開フォーラム

主催 十勝野に夢を育む会(農村女性グループ)

とき 平成8年3月5日

テーマ 「夢多き農村生活」

講演者 七戸 長生(当研究所・所長)

○留萌地域農水産物輸送高度化に関する懇談会

主催 留萌開発建設部・地域振興対策室

とき 平成8年3月7日

テーマ 「北海道における野菜生産・流通の現状と将来展望」

講演者 富田 義昭(当研究所・常務理事)

○第91回北海道農業経済学会

例会・個別報告

主催 北海道農業経済学会

とき 平成8年3月8日

テーマ 「北海道における野菜の生産・流通戦略と産地地形」

報告者 富田 義昭(当研究所・常務理事)

○第5回道南地区野菜生産流通対策研修会

主催 道南地区野菜生産者連絡協議会

とき 平成8年3月15日

テーマ 「北海道における野菜生産・流通の現状と将来展望」

講演者 富田 義昭(当研究所・常務理事)

○地域農業振興計画説明・研修会

主催 J A豊富町

とき 平成8年5月30日

テーマ 「豊富町農業振興計画の策定とその活用」

講演者 坂下 明彦(北海道大学農学部助教授)

調査研究報告書等の

頒布のご紹介

当研究所では調査研究の成果に對しては、これまでつとめて「研究叢書」として発行し、会員に對し配付してはいますが、特定の調査報告書などは配付先を限定して

るものがあります。

平成七年度に発行した公表可能な調査報告書などのうち、次の資料は若干の余部がありますので、申し込みいただければ頒布に際することができますのでご紹介いたします。

◎中山間地域における農地利用計画―道営土地総事業 初山別地区 地域整備計画―

留萌支庁管内初山別村は水稻の限界地域にあり、しかも山間地ともいべき農業であるが、近い将来に農家戸数が激しく減少する予想のもとに、平成六～七年に初山別村および留萌支庁からの依頼により、当研究所が行った調査結果である。

将来の農業の担い手のあるべき姿と、供給される農地の有効な活用をどうすべきかの課題に對し、全農家のアンケートや三つの地域における詳細な聞き取り調査を実施するとともに、現地各機関の意向にもとづく検討を踏まえ、まとめられたものである。

農業の担い手不足は、稲作の限界地であり山間地でもあるこの地域で顕在化している。また、条件不利地を内部に持つ道内の多数の市町村にとつても、極めて身近な問題であり、参考になる資料と思われる。

B5版 六一ページ

頒布価格 一、〇〇〇円

(送料・消費税込み)

◎「北海道における有機農産物の現状と展望」調査報告書

北海道はグリーン農業の推進に関係機関があげて取り組んでいるが、当研究所では平成七年度北海道農政部からの委託にもとづき、「農産物の商品特性を生かした多様な生産・流通・消費の現状と展望の調査研究」に取り組み、その一端として広義の有機農業（グリーン農業やフー・フー・フーなどを含む）の生産・流通・消費の各分野の実態と問題点について、多くの関係機関の協力により、体系的な調査研究を行い取りまとめたものである。

主な内容は、①有機農業の歴史と現状、②北海道における有機農業生産の実態、③有機農産物流通の現状と課題、④有機農産物流通に対する消費者意識、⑤北海道における有機農業の課題—などであり、アンケート調査や事例調査にもとづく解析を行った。

当研究所の会員に対しては、五月上旬送付済であるが、この資料は「食と農」の有機的な結合を図る視点から、北海道の農産物の生産と消費の特徴を踏まえ、今後のグリーン農業の推進と販売戦略に活かすためにも、是非関係者の一読を勧めたい。

A4版 一一三ページ

頒布価格 一、〇〇〇円

(送料・消費税込み)

◎美瑛町農業構造改善コンサルタント業務調査報告書

農村では高齢化が進行するなかで、後継者不在の高齢農家が多数存在し、担い手就農の不足問題が深刻化しており、これと連動して将来農地の放出が益々増大するこ

とが危惧されている。

(社)全国農業構造改善協会から、美瑛町における「農業構造改善地域連携システム支援コンサルタント活動」について、当研究所に対しコンサルタント業務の依頼があり、取り組んだものである。

地域農業の再編強化の重点的課題として、①地域振興と担い手育成、②高齢農家問題と農地流動化対策」の二点について、実態調査などにもとづく診断のなかから、今後想定される課題、実戦活動のポイント、町の推進体制のあるべき姿に加え、併せて農家の構造改善意欲及び取り組み姿勢等について効果的な推進手法などより具体的な提言を行っている。

たまたま、平成六～七年度に美瑛町から地域農業振興計画策定の基礎調査を依頼されたことに連動した調査であり、より具体的な提言を行うことができた。

このような課題と具体的な提言内容は、道内の多くの地域において参考になるものと思われる。

A4版 六一ページ

頒布価格 一、〇〇〇円

(送料・消費税込み)

◎研修会資料「北海道における野菜生産・流通の現状と将来展望」—稲作・畑作の複合経営の定着と産地形成・発展をめざして—

北海道農業の戦略作目として野菜の位置づけが重要視されているが、最近、野菜価格の低迷や輸入攻勢など流通の側面から、また、経営規模拡大や労働力不足などの生産構造から、伸び悩みが顕在化しているとの見方がある。

そのため生産・流通事情、振興対策や産地形成について、現状と将来見通しなどについての講演依頼が多く、当研究所関係者が対応している。その共通的な資料として平成八年一月にまとめ、各種研修会に使用したものである。

主な内容は、①野菜の全国・道内の生産・流通・消費動向、②最近の輸入野菜の動向と産地への影響、③北海道における野菜の振興方向、④流通戦略の方向、⑤これからの野菜産地化を指してどう

取り組むカーなどについて、多くの統計資料を使いながら体系的に分析・解説しており、野菜の将来展望を拓くため、関係する実務者やリーダー的な生産者の参考になる資料と思われる。

B5版 七四ページ

頒布価格 一、〇〇〇円

(送料・消費税込み)

〔参考図表〕農業センサス集計結果の主な指標

	1985年	1990年	1995年
農家数	4,229(-6.1)	3,835(-9.3)	3,438(-10.4)
農家人口	1,930(-7.1)	1,730(-10.4)	1,506(-12.6)
農業就業人口	5,428(-8.3)	4,819(-11.3)	4,132(-14.3)
基幹的就業人口	3,465(-10.5)	2,927(-15.5)	2,555(-13.7)
耕地面積	5,379(-1.6)	5,243(-3.5)	5,038(-3.9)
(北海道)	1,185(+1.0)	1,208(+1.9)	1,176(-2.6)
(都府県)	4,194(-3.0)	4,035(-3.8)	3,862(-4.3)
経営耕地面積	4,777	4,581(-4.1)	4,328(-5.5)
(北海道)	1,116	1,141(+1.3)	1,181(+0.9)
(都府県)	3,661	3,440(-6.1)	3,197(-7.1)
耕作放棄面積	276	312(+13.5)	346(+10.9)
借入農地面積	320	411(+28.4)	511(+24.3)
(北海道)	66	85(+28.8)	122(+43.5)
(都府県)	254	326(+28.3)	389(+19.3)

〔単位〕農家数：千戸、人口：千人、面積：千ha。
() 内数字は、前回調査に対する増減率。



関連事項 / DATA

- 北海道立中央農業試験場
〒069-13夕張郡長沼町東6線北15号
☎01238-9-2001
- J A 厚沢部町
〒043-11松山郡厚沢部町新町183-3
☎0136-4-3321
- J A 白糠町
〒088-03白糠郡白糠町西1条北2丁目
☎01547-2-2235
- 札幌大学経済学部
〒062札幌市豊平区西岡3条7丁目
☎011-852-1181
- 北海道東海大学国際文化学部
〒005札幌市南区南沢5条1-1-1
☎011-571-5111
- 北海道大学農学部
〒060札幌市北区北9条西9丁目
☎011-716-2111
- 酪農学園大学
〒060江別市文京台緑町582-1
☎011-386-1112
- 市立名寄短期大学
〒096名寄市西2条北8丁目1番地
☎01654-2-4194
- 社団法人音別町農業振興公社
〒088-01白糠郡音別町
☎01547-6-2554
- 北海道生活協同組合連合会
〒060札幌市北区北7条西4丁目4-3
☎011-726-0288

後編
集記

◆「トウモロコシ急騰 飼料圧迫
シカゴ相場乱気流 畜産農家直撃」
「居座る低温 農作物へ用心——道内、
今後さらに1週間」

右は、5月14日付北海道新聞の第一面の約半分を占めた二つの記事の見出しです。そしてその朝6時の道内各地の気温は、札幌8・4℃、旭川6・7℃、帯広5・2℃はまだしも根室2・7℃、北見0・4℃、網走0・1℃など誠に好ましくない気象がつづき、時候の挨拶も「寒いですわえ」がずっかり通り相場になりました。

◇本号エッセイで河合知子先生から紹介された「沈黙の春」の、見開きに掲載されたE・B・ホワイトの詩を以下に引用し、環境について再考してみたいと思います。

私は、人類にたいした希望を寄せていない。人間は、かしこすぎるあまり、かえってみずから禍いをまねく。自然を相手にするときには、自然をねじふせて自分の言いなりにしようとする。私たちみんなの住んでいるこの惑星にもう少し愛情をもち、疑心暗鬼や暴君の心を捨て去れば、人類も生きながらえる希望があるのに。

(K・T)